

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	<u>30</u>

事業所番号	3990100061
法人名	特定医療法人 仁生会
事業所名	グループホーム いろは丸
訪問調査日	平成20年6月27日
評価確定日	平成20年9月10日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	3990100061
法人名	特定医療法人 仁生会
事業所名	グループホーム いろは丸
所在地 (電話番号)	高知市一宮西町1丁目5番17号 (電話) 088-846-0168

評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成20年6月27日	評価確定日	平成20年9月10日

【情報提供票より】(平成20年6月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成19年5月27日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤2(内兼務1)人、非常勤15人、常勤換算8.6人	

(2) 建物概要

建物形態	併設 / 単独		新築 / 改築	
建物構造	鉄骨 造り			
	3 階建ての	2 階 ~	3 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000~60,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円	
敷金	有() 円 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(6月27日現在)

利用者人数	17 名	男性	2 名	女性	15 名	
要介護1	7 名	要介護2	5 名			
要介護3	4 名	要介護4	1 名			
要介護5	名		要支援2	名		
年齢	平均	84.6 歳	最低	70 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	三愛病院、細木病院、島崎歯科
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

3階建ての建物の1階にデイサービスを併設しているが、グループホームの玄関は普通の家の造りで、施設と思わせない配慮が感じられる。周辺には学校、商店、公園、母体法人の運営する病院などがあり、環境に恵まれ、利用者に安心感を与えている。隣接する畑の所有者から栽培方法を教えてもらっているという畑は世話が行き届いており、季節の野菜が沢山育っている。利用者は自立度の高い方が多く、管理者や職員が利用者を主体に働きかけていることが窺われる。清潔感が感じられるホームの各居室は床や壁の装飾が異なり、自分の部屋として、利用者や家族が居心地良く暮らせる空間を作っている。開設1年目の事業所であるが、同一法人が経営するグループホームも多く、そのノウハウや経験を活かした運営により、利用者や家族が安心して暮らせるホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目 ①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)	今回は初めての外部評価である。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)	ユニットごとに職員の意見をまとめ、管理者が自己評価を作成している。今後、職員で話し合い、運営推進会議で報告し、改善に向けて取り組むように考えている。
重点項目 ②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)	開設1年目であり、ホームの活動内容を知ってもらう情報交換の場になっている。参加メンバーから地域の情報提供があり、地域との交流に役立っている。自己評価は運営推進会議に報告していないが、今回の外部評価に係る改善課題と併せて会議で報告し、改善に向けた取り組みを行う予定である。
重点項目 ③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)	家族の来訪時には声を掛け、来訪できない家族には電話で状況を伝え、月1回「いろは丸便り」を発行して家族に喜ばれている。家族会は組織されているが、開設時に1回開催したのみである。管理者は「苦情は宝物である。」と認識しているので、サービスの質の向上を目指すためにも、家族会を活用するなど、意見や苦情が出易い仕組みづくりを期待したい。
重点項目 ④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)	町内会、自治会には加入していないが、運営推進会議のメンバーである町内会長や民生委員から地域の情報を得て、地域の一員として清掃活動やイベントなどに参加している。周辺には学校や公園があり、近所の方や児童が自由に来訪したり、野菜を持って来てくれたりして交流を図っている。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 現在、独自の理念を作ることを考えている。 <input checked="" type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容である。 法人の理念ではあるが、地域との交流の大切さを示し、地域との関わりを目指した内容である。	○	現在の理念は、法人共通のものであり、事業所独自の理念を検討中とのことであるので、早期に地域密着型サービスとしての事業所独自の理念を作り上げることが期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 月1回のフロア会や毎日の申し送り時に、理念に基づいたサービスを提供するように意識づけを行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 利用者が主体となるように、利用者に合わせた声かけや支援を心がけている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 町内会、自治会には加入していないが、運営推進会議のメンバーの町内会長や民生委員から情報を得て、地域の一員として積極的に地域活動に参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 地域の一員として地域の清掃活動やイベントに参加し、近所の人も野菜を持って来たり、自由に行き来したりして、交流を図っている。また、ホームの畑も、ホームに隣接する畑の所有者から野菜の作り方を教わり、世話をしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 自己評価は各ユニットでまとめて作成しているが、評価の意義や内容について、管理者及びパート職員を含む職員全員で十分話し合っていない。 <input type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 今回が初めての外部評価である。	○	自己評価及び外部評価は、その意義やねらいを認識して実施することにより、サービスの内容を振り返り、見直しを行う絶好の機会である。パート職員も含め職員全員で意見交換し、サービスの質の向上を図ることが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 開設1年目であり、ホームの活動内容を知ってもらう情報交換の場になっている。参加メンバーから地域の情報提供もあり、双方向的な会議となっており、地域との交流に役立っている。 <input type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 今回が初めての外部評価である。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 市役所からは研修の案内があり、事業所からは介護保険や生活保護等の相談を持ちかけ、担当者と交流を図るように努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 家族来訪時には声を掛け、来訪できない家族には電話で利用者の状況などを伝えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 月1回「いろは丸便り」を発行し、家族に事業所の様子を伝えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 金銭の使途を小遣帳に記入し、月1回家族に報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 家族会は開設時に一度開催したのみである。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 管理者は、「苦情は宝物」と捉えており、苦情や意見が出れば、発生要因を探り、課題を検討し、サービスの質の向上に取り組むようにしている。	○	管理者は「苦情は宝物である。」と認識しているので、管理者の認識を具体化し、サービスの質の向上を目指すためにも、家族会を活用するなど、意見や苦情が出易い仕組みづくりを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
	9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。</p> <p>職員の配置が固定化しており、馴染みの職員が継続して支えている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。</p> <p>新しい職員には業務についてリハーサルし、周りのスタッフがカバーするよう配慮している。</p>		
5. 人材の育成と支援						
	10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。</p> <p>法人内の研修には参加しているが、外部研修への参加は少ない。外部研修は情報を掲示し、職員が公休を取って参加している。</p> <p><input type="checkbox"/>全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。</p> <p>研修に参加した職員は資料を事業所に提出しているが、研修報告書は作成していない。</p>	<input type="radio"/>	<p>職員の研修計画を策定し、外部研修に参加する機会を増やすことを期待したい。また、研修内容は、報告書の作成や報告会の開催など、職員全員が共有できるよう工夫されたい。</p>
	11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。</p> <p><input type="checkbox"/>管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。</p> <p>2カ月に1回、同一法人の在宅部での集まりや居宅介護事業所のケアマネとの交流はあるが、他法人の同業者との交流はない。</p>	<input type="radio"/>	<p>同一法人の事業所とは定期的に連絡を取っているが、他法人の事業所との学習会や相互訪問等から学ぶことは、サービスの質の向上に繋がるので、交流に取り組みされることを期待したい。</p>
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応						
	12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。</p> <p>ケアマネから情報を得ることが多い。また、コミュニケーションを取れる利用者が多いので、本人からの聞き取りでも把握している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	<input checked="" type="checkbox"/> 日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。 掃除や洗濯など、利用者ができることは一緒に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。 利用者ができることは一緒にするようにしている。また、夜勤帯には利用者とゆつくり過ごすことが多く、話しをしたりして和やかな時間を過ごしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。 食事作りの時の下ごしらえや味付け、戦争体験や昔の習慣など、教えてもらう場面がある。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 利用者や家族が安心して生活を送ることができるように考え、常日頃から希望や意向の把握に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 毎日の申し送り、月1回のモニタリング、3か月に1回のカンファレンスで話し合っている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 短期は3か月、長期は6か月ごとに見直している <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。 <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>医療処置を受けながら生活が継続できるように努めている。 看護師の配置は無いが、近隣の協力医療機関である三愛病院の協力のもと、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。</p> <p><input type="checkbox"/>重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 本人や家族が重度化した場合や終末期のケアを希望する場合は、事業所で対応することを考えている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 通院、定期受診は、原則家族が付き添っているが、困難な場合は職員が対応している。特別な外出が必要な場合は個別に支援している。</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 原則、かかりつけ医への受診を勧めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診結果に関する情報の共有ができています。 家族が同行した場合は家族から、職員が同行した場合はその職員から報告を受け、情報を共有している。</p>		
19	47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p><input type="checkbox"/>終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 重度化した場合の対応指針は定めており、家族から「臨終に際する家族の対応意思の確認」と「看取り同意書」はもらっているが、家族、医師、看護師を交えた具体的な話し合いは行っていない。</p> <p><input type="checkbox"/>本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられように取り組んでいる。 事例がないため、職員間での話し合いや医師との連携は具体的に取り組んでいない。</p>	○	<p>開設1年目であり、重度化や終末期の事例がないが、今後対応が避けられない課題であり、利用者や家族が安心して最期を迎えられるように、まず職員間で話し合い、医師とも連携をとり、方針を共有するように取り組むことを期待したい。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉がけや対応に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 個人情報を話さないように気をつけることを徹底している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 職員採用時に徹底し、その後も職員会などで折に触れ説明し、理解するように努めている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。 利用者に合わせて生活することを心がけ、声かけなどで把握し、柔軟に支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 業務優先になる場合もあるが、基本的に利用者に合わせるように努めている。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 利用者が出来ることや気持ちを大切に、一緒に下ごしらえや後片付けをしている。献立の希望も聞いている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 同じものを同じテーブルで一緒に食べている。介助の必要な利用者には、職員が協力しながら楽しく食事している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
23	57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p><input type="checkbox"/>利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。</p> <p>入浴は2日に1回、日曜日は休みとなっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。</p> <p>職員を代え、時間をずらし、また、「受診のために必要」とか目的をはっきり伝えるなどして対応している。</p>	○	<p>事業所で入浴の曜日や回数、時間帯を決めてしまわずに、利用者の希望に合わせて入浴できるよう支援することが望まれる。</p>
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。</p> <p>野菜づくり、調理、洗濯、大正琴やキーボードの演奏など、利用者の役割や楽しみごとを把握し、発揮できる場面を作っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。</p> <p>季節ごとに行事の準備をしたり、折り紙で飾りを作ったり、音楽を聴いたり演奏したりして、楽しみごとや役割を作り出す働きかけをしている。</p>		
25	61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。</p> <p>美容院の出張があるが、馴染みの理容院に散髪に出かけたり、利用者が希望する場所に行ったりしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。</p> <p>近くに公園や遊園地があり、天気が良ければ毎日でも出かけるようにしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。</p> <p>月1回ユニットごとにバスレクに出掛けている。買物は家族に依頼することもあるが、職員が支援している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<input type="checkbox"/> 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 利用者の傾向を把握しており、そつと見守り、支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 近所の薬局や隣の畑の所有者から、声かけや見守りなどしてもらえる良い関係を築いている。		
27	71	<input type="checkbox"/> 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 事業所で年2回、夜間も想定した訓練を実施しているが、地域住民の参加、協力は得られていない。 <input type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 消火器等の点検は定期的実施している。非常用食料・備品については、水は十分確保しているが、食料・備品の準備ができていない。	○	災害時にはホームのみでは対応しきれないので、日頃から地域住民の参加、協力を得た避難訓練を実施することが大切である。また、万が一に備えて、非常用食料・備品の準備も望まれる。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<input type="checkbox"/> 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 一人ひとりチェック表で把握している。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 各ユニットで利用者の好みを把握し、味付けに工夫し、栄養バランスにも配慮して取り組んでいる。 <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 今までに1度関連施設の栄養士にチェックしてもらっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。</p> <p>居間、食堂、台所が一つの空間にまとまっており、利用者が一堂に集い、ソファや椅子に座り、TVを楽しんだり、体操ができる空間になっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気壊していない。</p> <p>利用者の手作り作品や利用者の写真が飾られている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。</p> <p>居間や廊下に七夕飾りをあしらひ、ユニットの入り口には金魚の水槽を配置し、畑にはトマトやナスを栽培し、季節感や五感の刺激に配慮している。</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>使い慣れた馴染みの物を傍に置おくなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。</p> <p>各居室は壁や床の色が異なり、そこに写真やカレンダーを飾り、TV、仏壇、椅子を置き、畳やゴザを敷いたりして、居心地良い自分の部屋を形作っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。</p> <p>本人の気持ちを大切に、職員が居室づくりに協力している。</p>		